

第46回 全国トラックドライバー・コンテスト

学科競技

問題用紙

(制限時間：60分間)

部門 4トン・11トン・トレーラ・女性

氏名

注意事項

- ① 解答はすべて別紙の解答用紙（マークシート方式）に記入すること。
- ② 解答用紙（マークシート方式）は、鉛筆を使用して必要な箇所にマークすること。なお、誤ってマークした場合は、跡の残らないように消しゴムで消すこと。
- ③ 解答用紙に書かれている受験番号、氏名を確認すること。
受験番号は「『部門コード』 - 『ゼッケン番号（2桁（例：青森県＝02））』」となる。

部 門	部門コード
4トン部門	B
11トン部門	C
トレーラ部門	T
女性部門	W

例）トレーラ部門の青森県代表の選手の場合、受験番号は「T - 02」となる。

- ④ この問題用紙は、試験開始の合図があるまで開かないこと。
- ⑤ 問題用紙を一通り見て、印刷の不鮮明なところがあれば挙手をして係員に申し出ること。
- ⑥ 問題用紙に、メモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま持ち帰ること。
- ⑦ 試験開始45分経過後より退室してよいが、解答用紙は机上に伏せて、他の選手の妨げにならないよう静かに退室すること。一度退室したら再度入室は認めない。
- ⑧ 時間については、試験終了10分前と5分前に終了を予告をする。
- ⑨ 落とした筆記用具の拾得等、試験時間中に何らかの問題が生じた場合は、挙手をして係員に申し出ること。

I 法規 (40 問)

【4 肢択一式問題】

問 1. 次のア～ウの () 内に「3」の数字が入るものはいくつあるか。次の 1 から 4 の中から 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 進路を変えようとするときは、その () 秒前に合図をしなければならない。
- イ 大型免許の運転免許試験を受けようとする者は、中型免許、普通免許又は大型特殊免許を現に受けている者に該当し、かつ、これらの免許のいずれかを受けていた期間が通算して () 年以上の者でなければならない。
- ウ 道路のまがりかどから () メートル以内の部分には駐停車禁止である。

- 1. 一つ
- 2. 二つ
- 3. 三つ
- 4. 無し

問 2. 徐行に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1. 歩道と車道の区別のない道路を通行する場合その他の場合において、歩行者の側方通過時に安全な間隔がとれないときは徐行して進行する。
- 2. 勾配の急な上り坂や下り坂では徐行して進行する。
- 3. 優先道路を通行している場合でも、左右の見とおしがきかない交差点では徐行して進行する。
- 4. 横断歩道を歩行者が横断しようとしているときは徐行して歩行者の横断を妨げないようにする。

問 3. 運転者の遵守事項に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。
次の1から4の中から1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 監護者が付き添わない児童若しくは幼児が歩行しているときは、一時停止し、又は徐行して、その通行又は歩行を妨げないようにすること。
- イ 安全地帯の側方を通過する場合は、当該安全地帯に歩行者がいなくても徐行すること。
- ウ 貨物の積載を確実に行う等積載している物の転落若しくは飛散を防ぐため必要な措置を講ずること。
- エ 車両等を離れるときは、その原動機を止め、完全にブレーキをかける等当該車両等が停止の状態を保つため必要な措置を講ずること。

- 1. 一つ
- 2. 二つ
- 3. 三つ
- 4. 四つ

問 4. 交差点の通行に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1. 左折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、できる限り道路の左側端に沿って徐行しながら通行する。
- 2. 交通整理の行なわれていない道幅が同じような道路の交差点では、左方からくる車の進行を妨げてはならない。
- 3. 車両通行帯の設けられた道路において、道路標識等により交差点で進行する方向に関する通行の区分が指定されているときは、通行区分に従って車両通行帯を通行しなければならない。
- 4. 一方通行路から右折するときは、道路の中央に寄り、交差点の中心の内側を徐行しながら進行する。

【○×正誤式問題】

次の問5から問40までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

問5. 横断歩道の設けられていない交差点直近で、歩行者が道路を横断しているときは、警笛を鳴らして歩行者に注意を促しながら走行する。

問6. この標識は、「学校、幼稚園、保育所等あり」を示している。



問7. 前方の混雑等により横断歩道で停止するおそれがある場合でも、横断歩行者の通行を妨害するおそれがない場合は、横断歩道に進入してもよい。

問8. 路線バス等の優先通行帯を通行している場合、路線バス等が後方から接近してきたときは、道路の破損などやむを得ない場合を除いて、すみやかに当該車両通行帯の外に出なければならない。

問9. 車道から歩道を横切って駐車場に入る場合は歩道の手前で一時停止しなければならないが、駐車場から歩道を横切って車道に出る場合は歩道の手前で一時停止する必要はない。

問10. 道路交通法でいう「自動車」には、原動機付自転車も含まれる。

問11. 身体の障害のある歩行者が通行しているときは、自車の存在を知らせるため、警音器を鳴らして進行する。

問12. 無免許運転を行うおそれのある者に対し自動車を提供し、提供を受けた者が無免許運転を行った場合は、自動車を提供した者も罰せられる。

問 13. この標示は、前方に横断歩道又は自転車横断帯があることを示している。



問 14. 信号機のない横断歩道の手前の直前に停止車両があるときは、その前方に出る前に一時停止しなければならない。

問 15. 高速自動車国道の路線バスの停留所は、路線バスの運行終了後であれば路線バス以外の自動車も駐停車することができる。

問 16. この標識は、駐車禁止（8時から20時まで）の区間の始まりを示している。



問 17. 運行記録計の装着が義務づけられている自動車で、運行記録計が故障等により記録できない場合には、出発地警察署長の許可を得た場合に限り、その自動車を運転させることができる。

問 18. 黄信号では原則として停止位置をこえて進行してはならないが、停止線が設けられている場合の「停止位置」とは、「停止線の直前」をいう。

問 19. 見とおしのきかない上り坂の頂上付近では、「警笛鳴らせ」の標識がない場合でも必ず警笛を鳴らさなければならない。

問 20. 同一方向に進行しながら進路を変えるときなど合図に係る行為をしないのにもかかわらず、合図を出した場合は違反行為となる。

- 問 21. 運転免許の適性試験における視力の合格基準は、大型免許と中型免許の場合、両眼で0.8以上、一眼でそれぞれ0.5以上である。
- 問 22. 交通事故が発生した場合、運転者には負傷者を救護する等の必要な措置を講じる義務があるが、運転者以外の乗務員にはそのような義務はない。
- 問 23. 高速道路の本線から出るときは、あらかじめ出口に接続する車両通行帯を通行しなければならないが、減速車線が設けられているときは減速車線を通行しなければならない。
- 問 24. 自転車横断帯とその手前 30 メートル以内は追越し禁止だが、追い抜きは禁止されていない。
- 問 25. 道路標識等により速度が指定されていない自動車専用道路における大型貨物自動車の最高速度は時速 60 キロである。
- 問 26. 踏切の警報機が鳴りはじめたときは、一時停止して安全を確認した後、すみやかに踏切を通過しなければならない。
- 問 27. 高速自動車国道等において緊急自動車が本線車道に入ろうとしている場合は、その通行を妨げてはならない。
- 問 28. 児童、幼児等の乗降のため、停車している通学通園バスの側方を通過するときは、徐行して安全を確認しなければならない。
- 問 29. この標識のある道路は、乗用車は通行が禁止されているが、小型の貨物自動車は通行できる。



問 30. 自動車の長さが 10 メートルの場合、積載できる貨物の長さは 12 メートルまでである。

問 31. 走行中の車両から弁当殻や紙屑を投げ捨てるのはマナーの悪い行為ではあるが、道路交通法の禁止行為ではない。

問 32. 赤色の点滅信号の場合は、歩行者も車両も一時停止して安全確認をした後でなければ進行できない。

問 33. この標識は、自車の通行している道路が「優先道路」であることを示している。



問 34. 右折しようとする車が先に交差点に入っていれば、直進車や左折車よりも右折しようとする車の方が優先される。

問 35. 交差点内で緊急自動車が接近してきたときは、ただちに交差点内の左側に停止し緊急自動車に進路を譲らなければならない。

問 36. 高速自動車国道及び自動車専用道路以外の一般道路においては、視界が 100 メートル以下の場合には昼間でも灯火をつけなければならない。

問 37. 車両総重量 5,500 キログラム、最大積載量 2,000 キログラムの車両を普通免許で運転した。

問 38. 自動車を後退させるときは、運転者はシートベルトを装着しなくてもよい。

問 39. 右折の矢印信号に従って右折するときには徐行しなくてもよい。

問 40. 道路標識等により通行を禁止されている道路をやむを得ない理由があつて通行する場合は、道路管理者の許可を得たうえで、許可証を携帯して通行する。

Ⅱ 構造機能 (20 問)

【4 肢択一式問題】

問 41. 灯火類の灯光の色に関する次の記述のうち正しいものはいくつあるか。次の 1 から 4 の中から 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 番号灯の灯光の色は、黄色であること。
- イ 尾灯の灯光の色は、赤色であること。
- ウ 制動灯の灯光の色は、橙色であること。
- エ 後退灯の灯光の色は、白色であること。

- 1. 一つ
- 2. 二つ
- 3. 三つ
- 4. 四つ

問 42. 「タイヤ」に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1. タイヤの点検は、タイヤが温まっている状態で行うのがよい。
- 2. 車両総重量 5 トン以上の自動車は、ディスク・ホイールの取付状態を点検しなければならない。
- 3. タイヤの亀裂や損傷の有無の点検は、走行距離や運行時の状態から判断した適切な時期に行えばよい。
- 4. タイヤの残り溝が 1.6 ミリになると、タイヤのスリップ・サイン表示位置に摩耗限度表示が現れる。

問 43. 車両点検を実施する際の留意事項に関する次の記述のうち、誤っているものを 1 つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- 1. 平たんな場所で行うこと。
- 2. パーキング・ブレーキを確実に効かせ、ギアはバックに入れること。
- 3. エンジンを止め、スタータ・キーを必ず抜き取ること。
- 4. タイヤに輪止めをかけること。

問 44. 事業用貨物自動車の点検整備に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

1. 定期点検整備は、6 か月ごと、12 か月ごとに行わなければならない。
2. 日常点検は、一日一回、その運行の開始前又は運行の終了後に実施しなければならない。
3. 日常点検は、国土交通省令で定める技術上の基準に基づいて実施しなければならないが、「国土交通省令で定める技術上の基準」とは、「道路運送車両の保安基準」のことである。
4. 点検整備記録簿の保存期間は、1 年間である。

【○×正誤式問題】

次の問 45 から問 60 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 45. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって車両総重量が6.5トン以上のものの後面には、後部反射器を備えるほか、大型後部反射器を備えなければならない。
- 問 46. 新 ISO 方式のホイールは、左車輪も右ねじになる。
- 問 47. 自動車運送事業の用に供する自動車の6か月ごとの定期点検項目と12か月ごとの定期点検項目は全く同じである。
- 問 48. 貨物の運送の用に供する自動車（告示で定める自動車を除く。）で車両総重量3トンの車両の前面には、強度、形状等に関し告示で定める基準に適合する前部潜り込み防止装置を備えなければならない。
- 問 49. 自動車の軸重は、11.5 トンを超えてはならない。
- 問 50. 自動車の点検整備を怠ると、故障や事故の原因となるだけでなく、臨時整備費の発生や燃費低下などコスト面の負担も増大する。
- 問 51. 方向指示器は、毎分 60 回以上 100 回以下の一定の周期で点滅するものでなければならない。
- 問 52. 自動車の車体の後面には、最大積載量を表示しなければならない。
- 問 53. 自動車は、運行中ばい煙、悪臭のあるガス又は有害なガスを多量に発散しないものでなければならない。
- 問 54. 貨物の運送の用に供する自動車のうち、車両総重量が8トンに満たないものの両側面には、強度、形状等に関し告示で定める基準に適合する巻込防止装置を備え付ける必要はない。

- 問 55. 非常信号用具は、自発光式のものでなければならない。
- 問 56. 警音器の警報音発生装置の音は、連続するものであり、かつ、音の大きさ及び音色が一定なものであることとする。
- 問 57. エア・タンクから多量の水分が排出されたときは、エア・ドライヤ内の乾燥剤が劣化しているので、整備工場で点検を受ける必要がある。
- 問 58. 自動車の長さ（セミトレーラにあつては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離）は、告示で定める方法により測定した場合において、12メートルを超えてはならない。
- 問 59. エンジンオイルの量は、エンジン停止直後にチェックするのがよい。
- 問 60. 道路運送車両法における自動車の種別は、普通自動車、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車及び小型特殊自動車である。

Ⅲ 運転常識 (20 問)

【4 肢択一式問題】

問 61. 「事業用自動車の乗務員が遵守すべき事項」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

1. 酒気を帯びて乗務しないこと。ただし、身体に保有するアルコールの程度が血液1ミリリットルにつき0.3ミリグラム未満又は呼気1リットルにつき0.15ミリグラム未満の場合を除く。
2. 過積載をした事業用自動車に乗務しないこと。
3. 事業用自動車に貨物を積載するときは、偏荷重が生じないようにしたり、貨物が運搬中に荷崩れ等により事業用自動車から落下することを防止するため、貨物にロープ又はシートを掛けること等必要な措置を講ずること。
4. 事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとること。

問 62. 視覚の特性に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

1. 明るさが急に変わると、視力は一時急激に低下する。
2. 疲労の影響は目に最も強く現れる。
3. 高速になると視力が低下して、近くのもののははっきり見えても遠くのもののはほとんど見えなくなる。
4. 夜間は自車と対向車のライトで、道路の中央付近の歩行者が見えなくなることがある。

問 63. 坂道の走行に関する次のア～エの記述のうち、正しいものはいくつあるか。次の1から4の中から1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

- ア 片側が転落のおそれがある崖になっている道路で、安全な行き違いができないときは、崖側の車が一時停止して相手に進路を譲る。
- イ 近くに待避所のない坂道において道を譲るときは、上りの車が下りの車に道を譲るのが原則である。
- ウ 上り坂で前の車に続いて停車するときは、あまり接近しないようにする。
- エ 長い下り坂ではエンジブレーキを活用する。

1. 一つ
2. 二つ
3. 三つ
4. 四つ

問 64. 業務の都合上、休息期間を分割して与える場合に関し、次のうち改善基準に違反しているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークを付けなさい。

1.

拘束時間 7時間	休息期間 5時間	拘束時間 7時間	休息期間 5時間
-------------	-------------	-------------	-------------

2.

拘束時間 6時間	休息期間 4時間	拘束時間 8時間	休息期間 6時間
-------------	-------------	-------------	-------------

3.

拘束時間 4時間	休息期間 6時間	拘束時間 10時間	休息期間 4時間
-------------	-------------	--------------	-------------

4.

拘束時間 6時間	休息期間 3時間	拘束時間 8時間	休息期間 7時間
-------------	-------------	-------------	-------------

【○×正誤式問題】

次の問 65 から問 80 までの設問について、正しいと思うものについては解答用紙の○の欄に、誤っていると思うものについては解答用紙の×の欄に、マークを付けなさい。

- 問 65. 濡れたアスファルト路面を走るときなどは、摩擦抵抗が小さくなるため制動距離が短くなる。
- 問 66. 荷物の積み卸しや休憩時間にエンジンをかけたまま車両を放置しておく無駄なアイドリングをやめることは、燃料の消費抑制や地球温暖化対策として運転者に求められている。
- 問 67. 乗務開始前のアルコール検知器による酒気の有無の確認で異常が認められなかった場合には、乗務終了後の酒気の有無の確認は目視等による確認だけでよく、アルコール検知器による確認は必要としない。
- 問 68. 連続運転時間（1回が連続10分以上で、かつ、合計が30分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう）は、5時間を超えないものとする。
- 問 69. 死者が生じた事故を引き起こした運転者については、国土交通大臣が認定する機関による適性診断を受診しなければならないが、それ以外の事故を起こした運転者については適性診断を受診する必要はない。
- 問 70. 貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の休息期間については、当該自動車運転者の住所地における休息期間がそれ以外の場所における休息期間より長くなるように努めるものとする。
- 問 71. 夜間、見通しの悪い交差点やカーブ等の手前では、前照灯を上向きに切り替えるか点滅して、ほかの車や歩行者に自車の交差点への接近を知らせるとよい。
- 問 72. 車を運転中に大地震が発生し、やむを得ず車を道路上に置いて避難するときは、道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを止め、エンジンキーは付けたままとし、窓を閉め、ドアをロックする。

- 問 73. カーブで働く遠心力は、カーブの半径が大きいほど大きくなる。
- 問 74. 深夜業務に携わる運転者については、6 か月に 1 回、医師による健康診断を行わなければならない。
- 問 75. 運転者が危険を感じてからブレーキを踏み、ブレーキが実際にきき始めるまでの間に車が走る距離を「空走距離」といい、運転者が疲れているときなどは長くなるといわれている。
- 問 76. 霧が発生したときは、霧灯があるときは霧灯を、霧灯がないときは前照灯を早目に点灯し、センターラインやガードレール、前車の尾灯を目安に速度を落として走行する。
- 問 77. 後輪が横滑りしたときは、まずアクセルを緩め、ハンドルで車の向きを立て直すようにするが、この場合、後輪が右に滑った場合はハンドルは左、左に滑った場合は右に切るようにする。
- 問 78. 運行上やむを得ない場合により対面点呼ができないときは、電話その他の方法で点呼を行うことができるが、「その他の方法」とは携帯電話、業務無線等により運転者と直接対話できるものでなければならず、電子メール、FAX 等一方的な連絡方法は該当しない。
- 問 79. この荷扱い指示マークは、吊り位置を示している。



- 問 80. 事業用貨物自動車の運転者は、他の運転者と交替して乗務を開始しようとするときは、当該他の運転者から当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況についての通告を受け、当該事業用自動車の燃料及び積載状態について点検しなければならない。

第46回 全国トラックドライバー・コンテスト 学科競技解答

(公社)全日本トラック協会

選択肢				
問	1	2	3	4
1		2		
2	1			
3			3	
4				4

選択肢				
問	1	2	3	4
41		2		
42				4
43		2		
44				4

選択肢				
問	1	2	3	4
61	1			
62			3	
63			3	
64				4

問	○	×
5		×
6	○	
7		×
8	○	
9		×
10		×
11		×
12	○	
13	○	
14	○	
15		×
16		×
17		×
18	○	
19		×
20	○	

問	○	×
21	○	
22		×
23	○	
24		×
25	○	
26		×
27	○	
28	○	
29		×
30		×
31		×
32		×
33	○	
34		×
35		×
36		×

問	○	×
37		×
38	○	
39		×
40		×

問	○	×
45		×
46	○	
47		×
48		×
49		×
50	○	
51		×
52	○	
53	○	
54		×
55	○	
56	○	
57	○	
58	○	
59		×
60	○	

問	○	×
65		×
66	○	
67		×
68		×
69		×
70	○	
71	○	
72		×
73		×
74	○	
75	○	
76	○	
77		×
78	○	
79		×
80		×